～コミュニティ訪問ガイド～　　2025 年 7 月更新



イ　ン　ド

India



出典：外務省 HP

「神々と信仰の国」「喧騒と貧困の国」などといわれるインド。5000 年の歴史を誇り、多様な宗教、言語、文化を持つ民族がひしめき合って一つの文化圏を作っています。国内には膨大な数の遺跡があり、1000 年以上前に造られたものが当時の形のままで残っているものも少なくありません。近年の急速な経済発展が目覚ましい一方、カーストやジェンダー（社会的性別）に基づく差別により、取り残されている子どもたちの教育や保健の分野で深刻な課題を抱えています。





正式国名	：	インド
首都	：	ニューデリー
人口	：	14 億 3,807 万人（2023 年世界銀行）
時差	：	日本より 3 時間半遅れ
言語	：	ヒンディー語（連邦公用語）、他に憲法で公認されている州の言語が 21 言語
通貨	：	ルピー
宗教	：	ヒンドゥー教徒 79.8%、イスラム教 14.2%、キリスト教徒 2.3%、シク教、仏教、ジャイナ教等（2011 年国勢調査）
産業	：	農業、工業、鉱業、IT 産業

現 地 ま で の 行 き 方

***現地事務所までの交通手段は、訪問者側で手配をしてください。**

現地事務所からコミュニティまでは、現地事務所が車を用意してご案内いたしますが、レンタカー代・ガソリン代をご負担いただく場合があります。

【北西部地域１】

（#6001 デリー、#6002 ルンカランサル、#6003 バッジュ、#6103 ラージダニ）



出典：外務省HP

日本　～　インド　～　デリー



首都デリー（Delhi）にあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）へのご到着となります。空港から市街地までは、タクシーやエアポートバスをご利用いただけます。

■＃6001 デリー、＃6103 ラージダニ

デリー　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリー市内のホテルにご宿泊ください。現地事務所からコミュニティまでは、徒歩もしくは車で移動いただきます。車の場合は現地事務所が手配いたします。ご宿泊のホテルの場所をお伝え頂ければ、現地職員がホテルまでお迎えにあがることも可能です。

★デリー、ラージダニのホテル

地域	宿泊施設名
New Delhi（ニューデリー）	Eros Hotel
	The Allure New Delhi
	The Muse Sarovar Portico New Delhi
	Hotel Shervani Nehru Place
	Hotel: Park Inn by Radisson
	Grand Ffour
	Hotel Le Carde

■＃6002 ルンカランサル　＃6003 バッジュ

※注記：ルンカランサルおよびバッジュ地域は、地方自治体による訪問許可の取得が必要となる場合があり、取得手続きに2～3ヶ月を要するため、**訪問予定日の３ヶ月前までに事務局へご連絡ください**。

デリー　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリーから現地事務所までは、鉄道、バスもしくは国内線で移動いただきます。

＜飛行機＞現地事務所最寄りの空港はジョードプル（Jodhpur）空港です。

＜バス＞ビカネール(Bikaner)までお越しください。バスはジョードプル、デリー、ジャイサルメール（Jaisalmer)、アジメール（Ajmer)、ジャイプール（Jaipur)、ウダイプール（Udaipur)、アグラ（Agra）などから運行しています。

＜鉄道＞オールド・デリー駅からビカネール駅までお越しください。事前にご連絡があれば現地職員がお迎えにあがり、現地事務所までご案内します。ビカネール駅からルンカランサル現地事務所までは、約70km、バッジュ現地事務所までは約110kmです。

★ルンカラサル、バッジュのホテル

地域	宿泊施設名
Bikaner（ビカネール）	Hotel SAGAR LALGARH PALACE CAMPUS
	Hotel Raj Vilas Palace
	Maharaja Ganga Mahal
	Hotel The Laxmi Niwas Palace
	Narendra Bhawan Bikaner
	Hotel Jaswant Bhawan

【北西部地域2】

■＃6013 ウダイプール



出典：外務省HP

日本　～　インド　～　デリー/ムンバイ



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）またはムンバイのチャトラパティ・シヴァージー国際空港（Chhatrapati Shivaji international airport）へのご到着となります。

デリー／ムンバイ　～　ウダイプール　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリー、ムンバイからウダイプールへは国内便が定期的に運航しています。デリーからは夜行列車もご利用いただけます。ウダイプールから現地事務所までは、現地職員がお迎えにあがります。

★ウダイプールのホテル

地域	宿泊施設名
Udaipur（ウダイプール）	Mango Hotels Q
	Amantra Comfort Hotel
	Hotel Dream Palace
	Hotel Horizon
	Golden Tulip
	Swaroop Vilas Hotel
Udaipur（ウダイプール）	Radisson Blu
	Jagat Niwas Palace
	Hotel Mahendra Prakash
	The Leela Palace
	The Lalit Laxmi Vilas Palace
	Hotel Hilltop Palace

【北部地域１】

（＃6004　ガイルサイン、＃6011　ウッタルカシ、＃6008　マハラジガンジ、＃6096　ヴァラナシ）



出典：外務省HP

■＃6004　ガイルサイン　＃6011　ウッタルカシ

日本　～　インド　～　デリー



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）へのご到着となります。空港から市街地までは、タクシーやエアポートバスをご利用いただけます。

デリー　～　各現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

＜#6004 ガイルサイン＞ 方法は 2 つです。

① デリーからカトゴダム駅（Kathgodam）まで夜行列車で移動

→デリーからカトゴダム駅までは約 9 時間 30 分です。カトゴダム駅に隣接するタクシー案内所で先払い制タクシーを手配し、ガイルサイン現地事務所までは 6～7 時間ほどです。

② デリーからハリドワール駅（Haridwar）まで鉄道で移動

→デリーからハリドワール駅までは約 6 時間です。ハリドワール駅に隣接するタクシー案内所で先払い制タクシーを手配し、ガイルサイン現地事務所までは 8～10 時間ほどです。

＜#6011 ウッタルカシ＞

デリーからハリドワール駅（Haridwar）まで、鉄道またはバスで移動が可能です。ハリドワール駅に隣接するタクシー案内所で先払い制タクシーを手配し、ウッタルカシ現地事務所までは 7 時間ほどです。

★ガイルサン、ウッタルカシのホテル

地域	**宿泊施設名**
Gairsain（ガイルサン）	Garhwal Mandal Vikas Nigam
Uttarkashi（ウッタルカシ）	Hotel Monal , Kotbangla
	Garhwal Mandal Vikas Nigam, Main Market

■＃6008　マハラジガンジ

デリー　～　ゴーラクプル　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

まずゴーラクプル（Gorakhpur）へ移動してください。方法は2つです。

① デリーからゴーラクプルへ国内線で移動（※週3便のみ）

② デリーからラクナウ（Lucknow）へ国内線で移動→ラクナウからゴーラクプルへ鉄道で移動（特急で5～6時間）

ゴーラクプルからは、約50kmに位置するアナンドナガル（Anand Nagar）までタクシーでお越しください。現地事務所は、政府観光局が推奨するホテルをお勧めいたしますので、お問合せください。ご宿泊先のホテルまで現地職員がお迎えにあがります。

★マハラジガンジのホテル

地域	**宿泊施設名**
Gorakhpur（ゴーラクプル）	Shivoy Hotel, Town Hall
	Hotel Clark, Golghar
	Hotel Vivek Bank Road
Sonauli Maharajganj （ソノーリマハラジガンジ）	Hotel Niranjana, UP Tourism

※インドとネパールの国境付近	Sonauli

■＃6096　ヴァラナシ

デリー　～　ラクナウ　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリーからラクナウ（Lucknow）への移動は、国内線か鉄道をご利用ください。デリーなど主要都市からの便が到着するチャウダリー・チャラン・シン国際空港（Chaudhary Charan Singh）はアマウシ（Amausi）にあり、ラクナウ市街地までは約20kmです。デリーから鉄道でお越しになる場合、ラクナウ駅までは約512kmほどです。
ラクナウからコミュニティへの所要時間は、1時間～8時間ほどと、場所によって異なります。コミュニティによっては、ご訪問日を2日間ご用意いただく可能性があります。現地職員が、空港、鉄道駅、ご宿泊先のホテルなどへお迎えにあがります。ホテルのご予約は1か月前までにお願いします。

★ヴァラナシのホテル

地域	**宿泊施設名、住所**
Lucknow（ラクナウ）	Hotel Dayal Paradise
	Elite Guest House
	Hotel Lineage
Varanasi（ヴァラナシ）	Hotel City Inn S-21/116, L-14, Opp. Cantt. Rly. Station Parade Kothi, Varanasi
	Hotel Amaya The Mall Road, Cantonment, Varanasi

【北部地域２】(#6005　ムザファルプール、#6097　パトナ)



出典：外務省HP

■＃6005　ムザファルプール

日本　～　インド　～　デリー／ムンバイ／コルカタ



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）またはムンバイ、コルカタの空港へのご到着となります。

デリー／ムンバイ／コルカタ　～　ムザファルプール　～　現地事務所　～　コミュニティ

各都市からムザファルプールまでは鉄道での移動が可能です。または、ビハール州の首都パトナ（Patna）まで鉄道もしくは国内線で移動ののち、タクシーもしくはバスで2～3時間ほどでムザファルプールに到着します。パトナからムザファルプールまでの距離は約85kmです。現地事務所からコミュニティまでは、現地事務所が手配した車で移動いただきます。

★ムザファルプールのホテル

地域	宿泊施設名
Muzaffarpur（ムザファルプール）	Hotel Simna International
	Hotel Milan Residential
	Motel New Milan

■＃6097　パトナ

日本　～　インド　～　デリー



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）またはコルカタへのご到着となります。空港から市街地までは、タクシーやエアポートバスをご利用いただけます。

デリー　～　パトナ　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリーやコルカタからパトナのジャイ・プラカシュ・ナラヤン空港へは国内線が毎日運航しています。所要時間は約1時間半です。現地事務所は空港から約100kmの位置にあります。所要時間は車で3時間、公共交通機関で4時間程度です。鉄道の場合はニューデリー駅からパトナまで12～15時間ほどです。現地事務所からコミュニティまでは、現地事務所が手配した車で移動いただきます。場所により40km～230km、所用時間は1時間～5時間です。

★パトナのホテル

地域	宿泊施設名
Patna（パトナ）	Hotel Gargee Grand
	Hotel VIJAYATEJ Clarcks Inn
Patna（パトナ）	The Golden Sunrise Hotel
	Subh Yatra Heriotage

【中部地域】（#6031 ブバネシュワル、#6112 オディシャ、#6102 ランチ）



出典：外務省 HP

■＃6031　ブバネシュワル

※注記：ブバネシュワル地域は、地方自治体による訪問許可の取得が必要となる場合があり、取得手続きに2～3ヶ月を要するため、**訪問予定日の３ヶ月前までに事務局へご連絡ください**。

日本　～　インド　～　デリー他



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）、またはムンバイ、コルカタ、チェンナイの空港へのご到着となります。

デリー他　～　ブバネシュワル　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

主要都市から国内便でブバネシュワル(Bhubaneswar)空港までお越しください。空港から現地事務所のあるケーオーンジャル（Keonjhar）までは約212km、タクシーで7時間ほどです。バスもありますが、快適では無いのでタクシーをお勧めします。チャイルドとの交流やプランのプログラムの視察に、3日間ほど要する可能性があります。

★ブバネシュワルのホテル

地域	宿泊施設名
Keonjhar（ケーオーンジャル）	Hotel The Sans,
	Hotel Shreekshetra International

■＃6112　オディシャ

※注記：オディシャ地域は、地方自治体による訪問許可の取得が必要となる場合があり、
取得手続きに2～3ヶ月を要するため、**訪問予定日の３ヶ月前までに事務局へご連絡ください**。

日本　～　インド　～　デリー他



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport）、またはムンバイ、コルカタ、チェンナイ、ハイデラバードの空港へのご到着となります。

デリー他　～　ブバネシュワル　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

現地事務所があるブバネシュワルまでは、上記の主要都市から定期的に国内線が運行しています。鉄道での移動も可能です。オディシャにはケーオーンジャル（Keonjhar）とマユールバンジ（Mayurbhanj）の2か所に事務所があります。

ケーオーンジャルはブバネシュワルの中心地から212kmほど離れており、電車だと6時間程度かかります。バスでの移動も可能です。タクシーの場合、事務所まで5時間程度で到着します。ケーオーンジャルのご宿泊先まで現地職員がお迎えにあがります。マユールバンジはブバネシュワルの中心地から240kmほど離れており、タクシーで 6 時間程度かかります。マユールバンジはブバネシュワルから240kmほど離れています。陸路で6時間程度です。公共のバスもありますが、快適では無いのでタクシーでの移動をお勧めします。マユールバンジ（ウダラ市）のご宿泊先まで現地職員がお迎えにあがります。

★オディシャのホテル

地域	宿泊施設名
Udala, Mayurbhanj	Hotel Kalyani Palace
Baripada, Mayurbhanj	Hotel Ambika
Balesore, Odisha	Hotel Zaika International
Keonjhar	Hotel The Sans,

■＃6102　ランチ

日本　～　インド　～　デリー



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport)、またはコルカタへのご到着となります。

デリー　～　ランチ　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

デリーからランチへの移動は、国内線が便利です。ジャールカンド州の州都であるランチの空港までの飛行時間は1時間半ほどです。デリーまたはコルカタからランチまでは、夜行列車も運行しています。ランチの空港／駅から現地事務所までは、50kmほどです。

★ランチのホテル

地域	宿泊施設名
Ranchi（ランチ）	Hotel Green Horizon
	Capitol Residency, Station Road

【南部地域】

■#6012　ハイデラバード・ノース 、#6111　ハイデラバード・サウス



出典：外務省HP

日本　～　インド　～　デリー他



首都デリーにあるインディラ・ガンディー国際空港（Indira Gandhi international airport)、またはムンバイ、コルカタ、チェンナイ、バンガロールの空港へのご到着となります。

デリー他　～　ハイデラバード　～　現地事務所　～　チャイルドのコミュニティ

上記都市から国内便でハイデラバードのラジーヴ・ガンディー空港（Rajiv Gandhi international airport）までお越しください。飛行時間はどの都市からも2時間ほどです。空港から市街地までは、先払い制タクシーのご利用をお勧めします。現地職員がホテルまでお迎えにあがり、現地オフィスでプログラムについての説明ののち、
現地事務所からコミュニティまでは、現地事務所が手配した車で移動いただきます。

★ハイデラバード・ノース／サウスのホテル

地域	Hotel name & Address
Secunderabad（セカンダラーバード）	Minerva Grand, SarojiniDevi road
	Asrani International
	Hotel Basera
	The Purple Leaf Hotel
	Treebo Tryst Metropolis
	Time Square
	Yatri Nivas
	Stay Inn
Hyderabad（ハイデラバード）	Marigold Hotel by Greenpark
	ITC Kakatiya, Begumpet
	The Park Hyderabad, Raj bhavan road, Somajiguda
	The Golkonda Hotel, Masab tank
	Hotel Shubham Celebrations Shapurnagar

訪 問 に 適 し た 時 期

＃6001 デリー、＃6103 ラージダニ

ご訪問は11～2月の乾季にご計画されることをお勧めします。

3～6月（暑季）　:気温が高く、特に5～6月は最高気温が40℃以上になり、熱波や砂埃が発生するのもこの時期です。

7～8月（雨季）　:湿度も高くなります。この時期のご訪問は雨具の用意をお忘れなく。

11～2月（乾季）:晴天も多く比較的過ごしやすくなります。

12～1月（冬）：気温が4℃ほどしかなく、寒風も吹くため、防寒着を用意されることをお勧めします。

＃6002 ルンカランサル、＃6003 バッジュ、＃6013　ウダイプール

気候が比較的温暖で、かつチャイルド一家が比較的忙しくない12～3月にご訪問をご計画ください。

4～6月（乾季）：気温が高く、最高気温が40～47℃まで上昇します。

12～1月：朝夕の気温が2℃まで下がることがあります。

6月中旬から雨季が始まり、9月～12月中旬までは収穫期に入ります。この時期、住民の多くは農場での収穫作業でとても忙しくなります。また10月中旬頃から放牧のために居所の移動を始めますので、できるだけこの時期のご訪問はお避けください。

＃6004　ガイルサイン、＃6011 ウッタルカシ

ヒマラヤの気候帯に属し、5 つの季節があります。春、夏、秋のご訪問をお勧めします。

春	：	2 月末～4 月下旬	夏	：	4 月下旬～6 月中旬　（30℃程度になります）
雨季	：	6 月中旬～9 月中旬	秋	：	9 月中旬～10 月末
冬	：	10 月末～2 月末　（0℃位に下がる場合もあります）			

＃6005 ムザファルプール、＃6097 パトナ、＃6008　マハラジガンジ、＃6096 ヴァラナシ

ご訪問には比較的過ごしやすい10～3月をお勧めします。

3～5月　（夏）　：最高気温が44℃まで跳ね上がることもあります。

6～10月（雨季）：日中は蒸し暑く､夜は寒い日が続きます。

一旦降り出すと大雨になり、通行が困難になることがあります。

11～2月（冬）　：最低気温は約8℃です。

＃6031 ブバネシュワル、＃6012 /6111 ハイデラバード、＃6102 ランチ、＃6112 オディシャ

比較的気候が温暖な10～2月のご訪問をお勧めします。気温は10～25℃くらいです。朝夕のために、1 枚ジャケットをお持ちになるとよいでしょう。

3～6月（夏）　：5月下旬には､最高気温が38℃まで跳ね上がります。帽子をお持ちください。

7～9月（雨季）：日中は蒸し暑く､夜は寒い日が続きます。

一旦降り出すと大雨になり、通行が困難になることがあります。

現地事務所の業務日／時間

事務所業務日／時間　月曜から金曜　9：30～17：30（日、祝祭日のご訪問はご遠慮ください）

*年末年始のご訪問もお断りしております。

インドの主な祝祭日

インドでは州によって祝祭日が異なります。また、*印の祝祭日は、年、地域、宗教によって日付が変動します。

1月1日	新年	7月6日	*イスラム教断食明け祭
1月26日	共和国記念日	8月15日	独立記念日
2月20日	*マハ･シヴァラートゥホーリー	8月25日	*クリシュナ神誕生日
		10月2日	マハトマ・ガンジー誕生記念祭
3月24日	*水かけ祭	10月11日	*ヒンドゥー教デサラ祭
3月25日	*聖金曜日	10月31日	*ディワーリー
5月1日	メーデー	11月14日	*シーク教ナナック誕生記念祭
5月21日	*釈迦誕生祭	12月25日	クリスマス

現地職員との待ち合わせ

原則、現地事務所に直接お越しください。（事務所の所在地はご出発前にご連絡します。）活動地域によっては、ご宿泊先のホテルまで現地職員がお迎えにあがります。

言語と通訳

＊現地では職員が英語でご案内します。日本語通訳の手配をご希望の際は事前にお申し出ください。通訳料は実費をご負担いただきます。なお日本語通訳のレベルが十分でない場合や、通訳が手配できない場合もありますことをご了承ください。

■#6001　デリー、#6103 ラージダニ

主にヒンディー語が使用されていますが、一般的にホテルやレストランの従業員など旅行関連業務に関わる人たちは英語も話せる場合が多いです。

■#6002　ルンカランサル、#6003　バッジュ、#6013　ウダイプール

主にヒンディー語が使用されていますが、ルンカランサル、バッジュのプランが活動するコミュニティではマルワリ（Marwari）語が話されています。ウダイプールではいくつかの現地語が話されています。日本語通訳はほとんどおらず、現地事務所での通訳の手配を承っておりません。必要な場合は、ご訪問者側での手配をお願いいたします。この場合、通訳はデリーやジャイプールなどから同行する形となりますので、通訳の交通費や食費、宿泊費などもご負担いただくことになります。ご旅行の手配を依頼された旅行会社にご相談することをお勧めします。

■#6004 ガイルサイン、#6011 ウッタルカシ

主にヒンディー語が話されていますが、プランが活動するコミュニティではガルワーリー（Garhwali）語が話されています。一般的にタクシーの運転手やホテルの従業員はヒンディー語を話し、一部の人々は英語も話します。

■＃6005 ムザファルプール、＃6097 パトナ、＃6008　マハラジガンジ

主にヒンディー語が使用されていますが、プランが活動するコミュニティではボジプリ（Bhojpuri）語、マイティリ（Maithili）語、バジカ（Bajjika）語などが話されています。

■＃6012 /6111 ハイデラバード

主にテルグ（Telugu）語の他、ヒンディー語も使用されていますが、タクシーの運転手やホテルの従業員など旅行関連業務にかかわる人たちは英語も話す場合が多いです。

■＃6031 ブバネシュワル、＃6112 オディシャ

主にオディア（Odia）語（オリッサ州の公用語）、または、現地の言葉（Munda, Juanga）が話されています。

■＃6096 ヴァラナシ

主にヒンディー語が使用されていますが、プランが活動するコミュニティではボジプリ（Bhojpuri）語、アワディー（Awadhi）語などが話されています。一般的にタクシーの運転手やホテル、レストランの従業員は英語が通じる場合が多いです。

■＃6102 ランチ

主にヒンディー語が使用されていますが、プランが活動するコミュニティではサンタル（Santhali）語、または現地の言葉(Khorta, Ho)などが話されています。

宿　　泊

先述のホテルリストをご参考にされ、コミュニティの起点となる都市でのご宿泊予約をご自身で お手配ください。お手配が難しい場合は、お申し出ください。

両替・銀行・クレジットカード

デリー、ハイデラバード、ラクナウ、ブバネシュワルなどの大都市では、銀行や主要なホテルでトラベラーズチェック・外貨の両替が可能です。ビザ、マスターカードなどのクレジットカードもホテルやレストラン、デパートでご使用いただけるでしょう。ただし、活動地域では現地通貨ルピーをご使用いただくことになります。上記大都市以外の活動地域には両替できる金融機関があまり多くありません。活動地域にお入りになる前に、デリーなどの大都市で両替をお済ませください。

現地の習慣・留意事項

○テロの増加により、治安状況は常に変化しています。共和国記念日（1月26日）と独立記念日（8月15日）のある月は、特に用心深く警戒してください。

○訪問時は、控えめの服装でおいでください。特に都会では安全のために、宝石類や高価なサングラスを身に付けないようご注意ください。

〇流しのタクシーは利用しないでください。

〇日没後の一人歩きはお避け下さい。

○挨拶するときは体の前で両手のひらをカップのようにふくらませて合わせ「ナマステ（Namastae)」と言うのが一般的です。

最近では､握手による挨拶も浸透しておりますが、ハグ（抱擁）やキスをすることはお控えください。

○チャイルドや家族、コミュニティ住民、学校などの写真／ビデオ撮影の際は、事前に許可を取ってください。

特に女性や宗教的な理由で同意を得られないようであれば、強制しないでください。

○家屋や寺院に入るときは､履物をお脱ぎください。

○目上の人や高齢者を敬う文化であることをご留意ください。

○コミュニティを訪問する日は、男性も女性も肩や膝が出る服は避けてください。

○内陸部にあるコミュニティに行く場合は、車で40分～長時間かかることもあります。また、長い距離を徒歩で行かなければならないこともありますので、歩きやすい靴でお越しください。

○宗教や政治に関する話題はお控えください。

○訪問中の喫煙はご遠慮ください。

○生水や生野菜は口にしないようご注意ください。現地ではミネラルウォーターを購入いただけます。

〇チャイルドやコミュニティの住民の中には、人見知りしてなかなか話しづらいことがあります。訪問前に、手紙や報告書を読み返し、こちらからも積極的に質問や話題を用意されていくことをお勧めします。

○コミュニティ訪問時は華美にならない服装でご訪問下さい。男性はズボン、女性は肩とひざを出さない服装で、ショートパンツなどはお控えください。動きやすいスニーカー、布製のショルダーバッグ、リュックなどが良いでしょう。

○インドの伝統的な服装であるサルワル・クルタ（女性用）やパジャマ・クルタ（男性用）などを着てみるのもよいでしょう。彼らと打ちとけるきっかけになると思います。

- 〇 チャイルドと家族とは、自宅ではなく、コミュニティの中の学校や集会所など公共の場で面会・交流いただきます。
- 〇 チャイルドをコミュニティから連れ出すことや、コミュニティでのホームステイはできません。
- 〇 ファミリーから現金や物を要求するような発言があった時、現場での説明、通訳、諸費用の支払いについて問題をお感じになった場合は、その場で現地職員に伝えてください。
- 〇 あらゆる種類の麻薬の売買・所持、および子どもとの性行為は厳罰に処せられます。
- 〇 撮影した写真や動画を個人利用以外にソーシャルメディア(SNS)やインターネットへの投稿､印刷利用等される場合は、**事前にプラン・インターナショナルが確認**させていただきます。お断りする場合もありますのでご了承ください。チャイルドや家族など、個人が特定されるのを防ぐため、**掲載いただけない情報があります**。
- 〇 **お互いの個人住所や連絡先、SNS のアカウント等の交換はできません。**

チャイルドにおみやげを持っていく場合

○ご訪問いただくこと自体が、チャイルドや家族にとっては大きなプレゼントですので、お気遣いのないようにお願いします。

○**現地での購入もできます**：プランとしては、現地経済への貢献などを考えて現地での購入をお勧めします。文化・習慣の違いなどもありますので、事前にご相談ください。現地職員と共に購入する場合、現地職員は好まれる品物を紹介はしますが、購入は義務ではありませんのでご予算の範囲内でお買い求めください。

○日本からお持ちになる場合は、通関等の問題にならない範囲でご検討ください。**同一商品を数十個以上の単位で持ち込むことは通関等でトラブルになる可能性があります**。万一、課税される場合は訪問者の負担になりますのでご注意ください。

○**高価なおみやげはご遠慮ください**： チャイルドが健やかに育つには、地域全体の生活向上が不可欠です。あるチャイルドや家族だけが高価（貴金属、電子機器など）なギフトをもらうことにより、地域の調和を乱してしまうおそれがあります。

○コミュニティには他にも多くの子どもたちがいることにもご配慮ください。

◎適切なギフトの例：

- 知育玩具、絵本、パズル、塗り絵など
- 学用品（鉛筆、クレヨン、ノートなど）
- 日用品（石けん、歯ブラシ、タオル類など）
- グループで一緒に遊べるもの（ボール、風船、ヨーヨー、フリスビーなど）
- 日本の文化を紹介できるもの（折り紙、人形、コマ、日本の絵葉書など）
- 大勢で分けられるもの（筆記具、飴、グミなど）

×不適切なおみやげの例：

- **現金（いかなる場合も渡さないでください）**
  変質しやすく、食中毒を起こす可能性のある食べ物や、口にすると危険な乾燥剤の入っている包装菓子など
- 現地では高価なもの（電気製品、時計、使い捨てカメラなど）、電池を使うおもちゃ
- 中古品（汚れや破れのある古着、使い古しの学用品）
- アルコール類
- その他（翻訳が必要な本、薬《サプリメントも含む》、好き嫌いのある和菓子など）

簡 単 な 現 地 語 文 例

チャイルドにヒンディー語で話しかけてみませんか？

こんにちは/さようなら/おはよう/こんばんは ※両手のひらを合わせて	Namaste ナマステ
私の名前は、〇〇です。	Mera naam　〇〇　ho. メラ　ナーム　〇〇　ヘイ
お元気ですか？	aap kaise hain? アープ　カイセ　ヘイ？
私は元気です。	mei thik hun メー　ティーク　フ
あなたに会えて嬉しいです。	aapase milakar achchha laga アープセー　ミルカル　アチャー　ラガー
ありがとう。 ※両手のひらを合わせて	dhanyavaad ダッニャワード
美味しいです。	svaadisht スワディシュト
またお会いしましょう。	Filmilenge フィルミレンゲ

渡 航 前 の 準 備

○日本パスポート保持者は到着時の観光ビザ（ビザ・オン・アライバル）を申請することが可能です。

申請には、各種条件があります。**最新の情報はご自身で在日インド大使館ホームページよりご確認ください。**

問合せ先：在日インド大使館　〒102-0074　東京都千代田区九段南 2-2-11　　Tel：(03) -3262- 2391

https://www.indembassy-tokyo.gov.in/

○インド到着時、パスポートの有効期限が 6 カ月以上残っている必要があります。

○海外旅行損害保険には必ずご加入ください。

○渡航先の安全に関しては外務省の最新情報などでご確認ください。

- ✧　外務省領事サービスセンター（海外安全相談班）：https://www.anzen.mofa.go.jp/about_center/index.html
- ✧　外務省海外安全ホームページ：　http://www.anzen.mofa.go.jp/index.html
- ✧　海外渡航者のための感染症情報：　http://www.anzen.mofa.go.jp/kaian_search/index.html

○訪問時に、見たいこと聞きたいことなどが具体的にありましたら、事前にプラン事務局までご相談ください。

○現地事務所の連絡先などを記した訪問確認書を、出発前にお送りしますので必ずご持参ください。

もっと詳しい情報はこちらで！

✧　インド大使館　〒102- 0074　東京都千代田区九段南 2-2-11　　Tel:(03) -3262-2391

https://www.indembassy-tokyo.gov.in/

- ✧ 海外安全ホームページ
  https://www.anzen.mofa.go.jp/index.html
- ✧ 駐日外国公館リスト
  https://www.mofa.go.jp/mofaj/link/emblist/index.html
- ✧ 外務省　インド情報
  http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/india/index.html
- ✧ たびレジ
  https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/agree.html
- ✧ 在インド日本国大使館　Tel:+91-11-4610-4610
  Plot No.4&5, 50-G Shantipath, Chanakyapuri, New Delhi 110021
  https://www.in.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html